

キャッシュレス決済の仕組みと 利用上の留意点

電子マネーの利用を通じて、他の決済手段との違いや利用上の留意点を理解しましょう

一般社団法人 N T S セーフティ家計総合研究所
上席研究員 吉元利行

於：2023.11.29 潤徳女子高等学校



イメージキャラクターの
ゆきち
です。



1 貧困をなくそう
4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう

家計教養

私たちは、生活困窮者の方々や、より良い家計管理に向き合おうとする全ての方々に、「家計教養」をキーワードとした質の高い教育をご提供することを、持続可能な開発目標に据えて取り組んでいます。

1. キャッシュレス決済のイメージ

キャッシュレス決済 = 現金を使わないで代金等の支払いを完了すること。

➤ **どんなキャッシュ決済手段を利用していますか。**

交通系電子マネーカード 流通系電子マネーカード プリペイドカード デビットカード
クレジットカード コード（スマホ）決済

➤ **便利ですか、困ったことがありますか。**

➤ **今後も利用したいですか。**

今後も利用したい理由

できれば利用したくない理由

2. キャッシュレス決済は大別して3種類ある

前払い : 事前にプールした資金を使って、その場で支払いを完了（情報を移転）する。

- ・紙型（商品券等）、磁気型（クオカード等）、ICカード（Suica等）、モバイル型（モバイルSuica・WAON）、QRコード（PayPay,ファミPay）サーバ型。（Amazonギフト、Google Play、ブロンプリペイド）*いわゆるプリペイドカードと電子マネー。

即時払い : 現金と同じように、その場で支払いを完了する

- ・銀行口座から、預金を引き出さず、売主の口座に現金（情報が移るブランドデビット、Jデビット、コード決済。

後払い : 商品等の購入代金をカード会社等が代わりに支払うことを約束することで、買主はその場での代金の支払いを免れる。

- 「非割賦」 → 2か月以内の後払い。（キャリア決済、コンビニ決済、クレカ決済、BNPL）
- 「割 賦」 → 2か月を超える後払い。（分割払い・リボ払いクレジットカード）



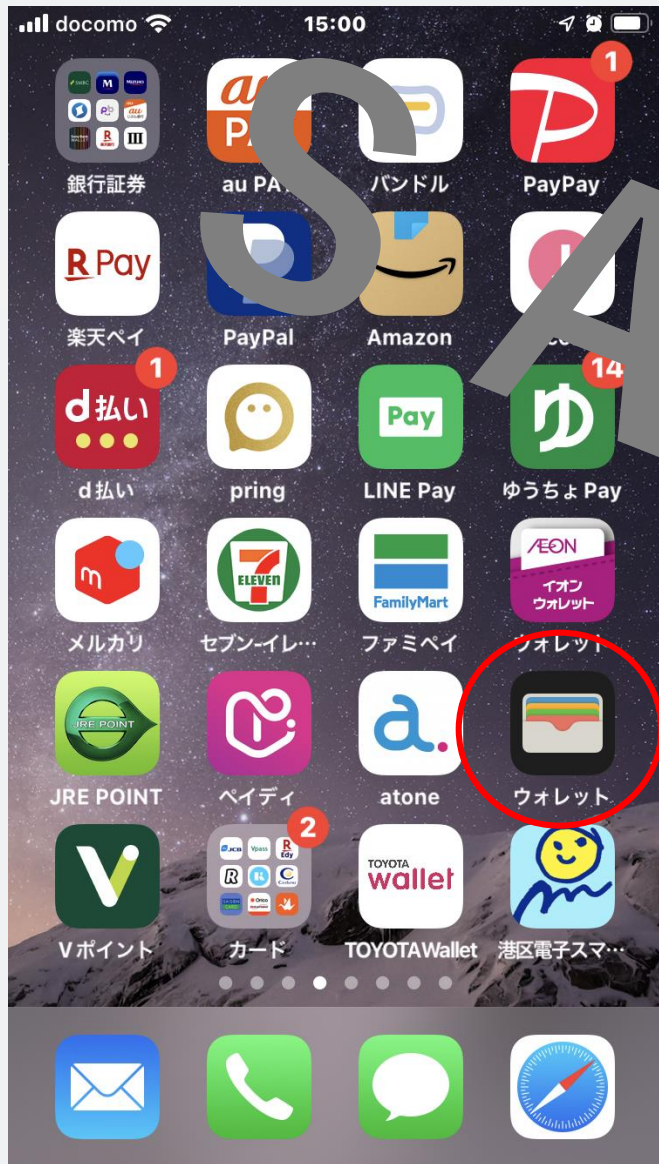
2. キャッシュレス決済は大別して3種類ある

別種	媒体	決済手段の種類	サービス名称等（例示）
前払い	紙など	商品券	百貨店ギフト券、文具券、ビール券
	磁気カード・ICカード	プリペイドカード・電子マネー	Suica、nanaco、WAON、クオカード
	記号・番号など	バーチャルカード・オンライン決済	Amazonギフトカード、iTunes card
	スマートフォン	コード決済（QR・二次元コード）	PayPay、LinePay、楽天Pay
即時払い	磁気カード・ICカード	デビットカード	J-Debit、Visaデビット、JCBデビット
	スマートフォン	銀行アプリ・資金移動アプリ	BankPay、銀行Pay、J-coinPay
	パソコン	インターネットバンキング	インターネット銀行、仮想支店
後払い	磁気・ICカード 記号・番号など	割賦	クレジットカードカード JCB、三井住友カード、楽天カード
		非割賦	1回払い専用クレジットカード ダイナース、アメリカックス、 ID、Quick pay
	非カード	割賦	個別信用購入あっせん オートローン、リフォームローン
		非割賦	BNPL・キャリア払い・コード決済 NP後払い、d払い、コンビニ払い

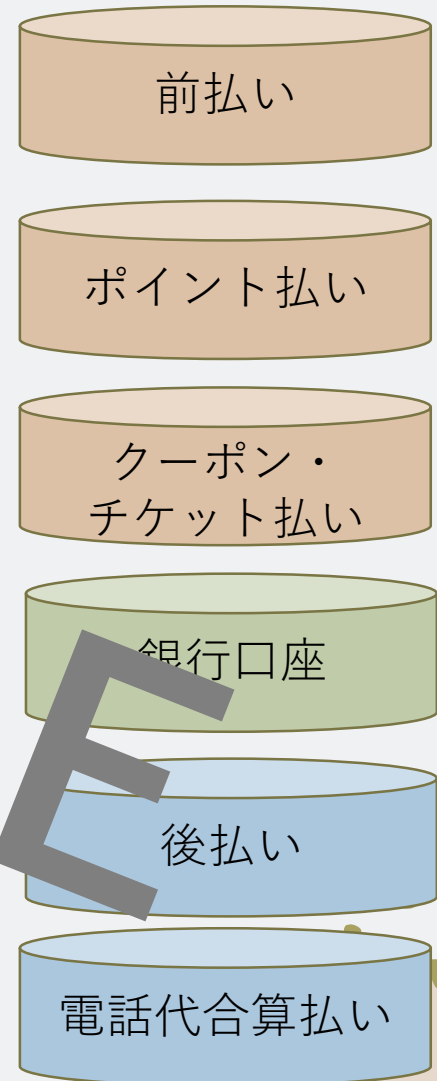
3. 国内専用と海外でも使えるキャッシュレス決済

	種別・国内	主なプレイヤー	特徴・媒体	海外
前払い	国際ブランドプリペイドカード	Visa・Mastercard、銀聯、JCB、Amexのイシュー	磁気・接触・非接触カード、スマホ	○
	特定目的プリペイドカード	iTunesカード、Amazon Gift Card	記号・番号のみで利用	○
	プリペイド型電子マネー	Edy、Suica、PASM、nanaco、WAON	非接触カード、スマホ	X
	スマホ（コード）決済	Apple Pay、楽天ペイ、LINE Pay	提示型/読込型（QR/二次元）コード	X
	ステーブルコイン決済	JPYC	ブロックチェーン技術	○
即時払い	国際ブランドデビットカード	Visa・Mastercard、銀聯、JCB、Amexのイシュー	接触・非接触カード、スマホ	○
	J-デビットカード	国内各銀行	キャッシュカード兼用	X
	J-Debit基盤、ことら基盤	Bank pay、銀行pay、j-coin pay、ことら送金	提示型/読込型（QR/二次元）コード	X
	資金移動業	ウエスタンユニオン、Paypal	電話番号、ID、SNS、メールアドレス	○
		LINE Pay、PayPay、NTTドコモ		X
後払い	国際ブランドクレジットカード	Visa・Mastercard、銀聯、JCB、Amex、Diners	接触・非接触カード、スマホ	○
	ハウスクレジットカード	スーパー、GS、レンタカーなどのカード	磁気カード、QRコード	X
	ポストペイ型電子マネー	iD、QUICK Pay	非接触カード、スマホ	X
	キャリア決済	ソフトバンクまとめて支払い、ドコモ払い、auかんたん決済	電話料金と一緒に支払う	X
	BNPL	NP後払い、後払い.com、paidy	電話番号・メールアドレス	X

【参考】決済手段拡大と組合せが拡大

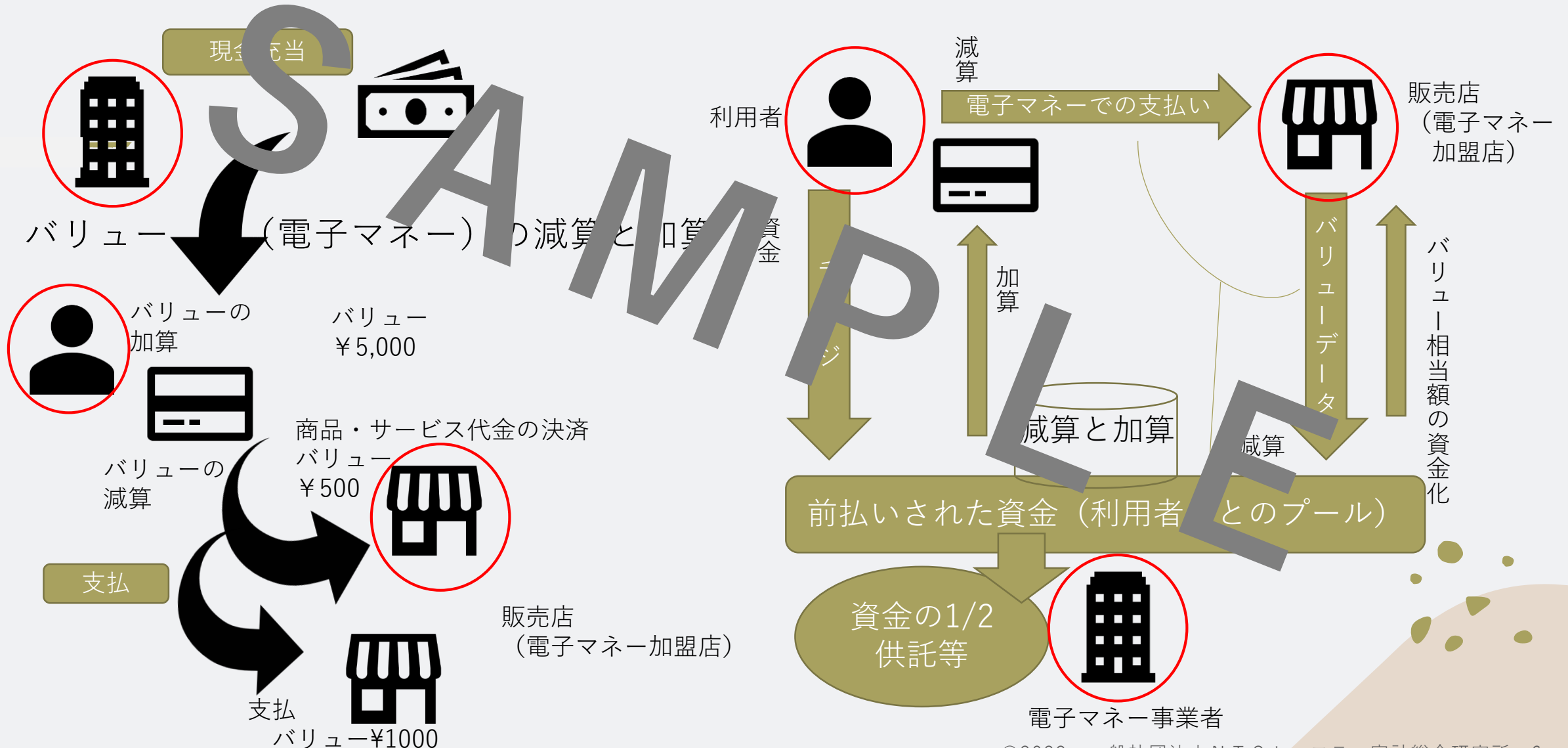


ApplePay



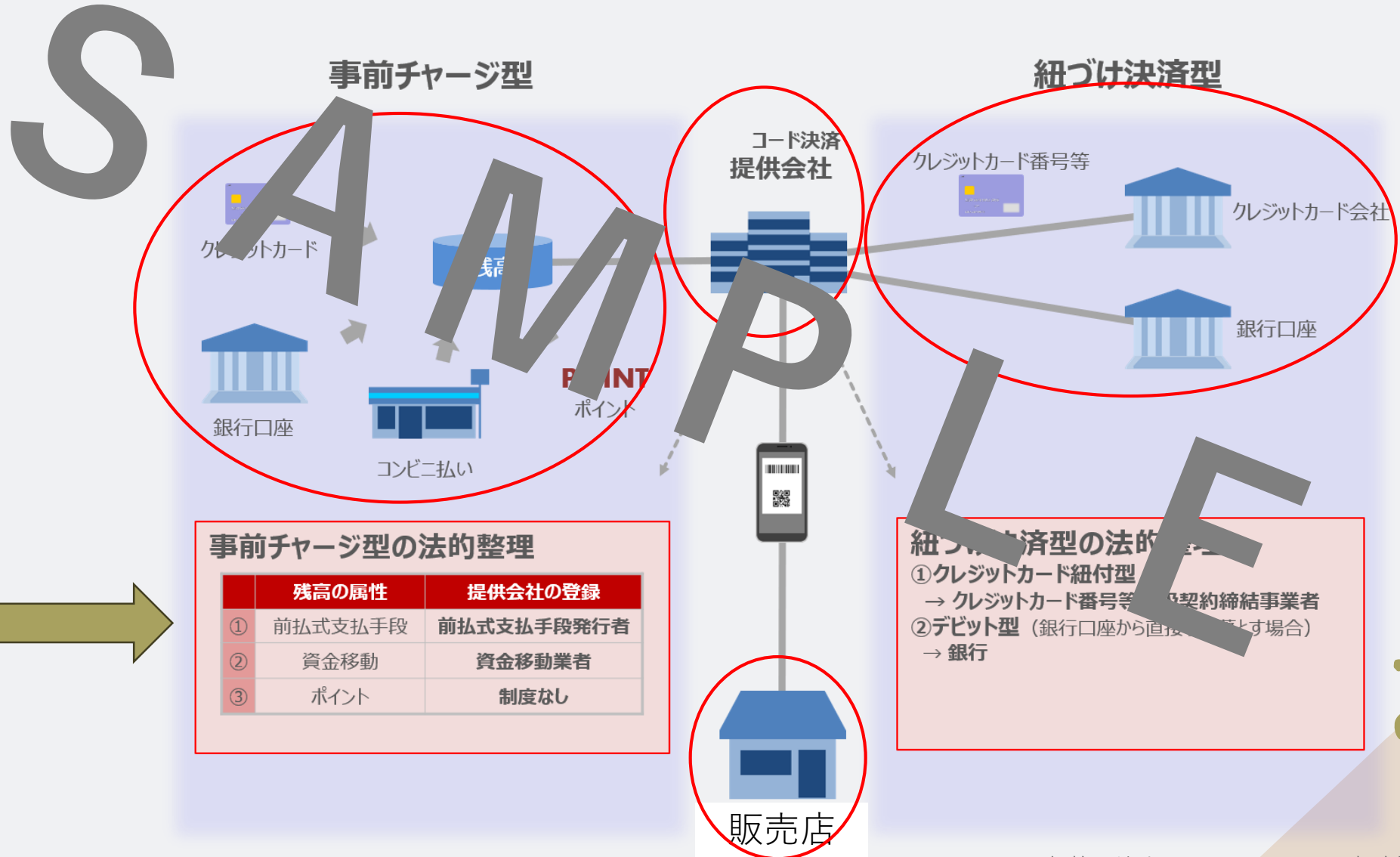
4. 電子マネー決済の仕組み

三当事者型



5. コード決済の仕組み その1

コード決済加盟店で利用



事前チャージ型

紐づけ決済型

コード決済
提供会社

クレジットカード番号等

クレジットカード会社

銀行口座

事前チャージ型の法的整理

	残高の属性	提供会社の登録
①	前払式支払手段	前払式支払手段発行者
②	資金移動	資金移動業者
③	ポイント	制度なし

紐づけ決済型の法的整理

- ①クレジットカード紐付型
→ クレジットカード番号等 契約締結事業者
- ②デビット型 (銀行口座から直接決済する場合)
→ 銀行

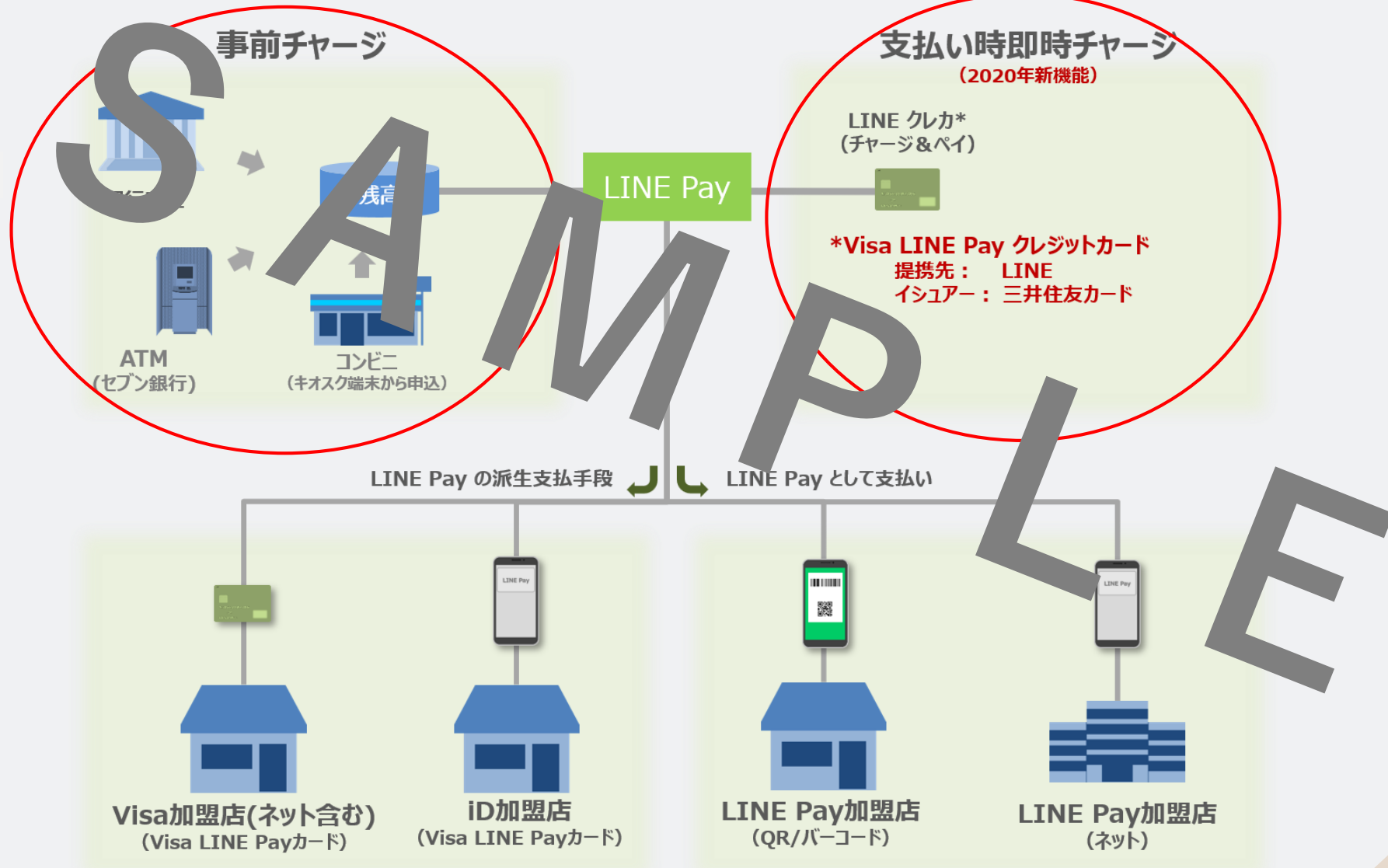
クレジットカードでバリューを購入して、後払いするのに前払いの位置づけ

クレカでの後払い

銀行口座から即時に返済

5. コード決済の仕組み その2

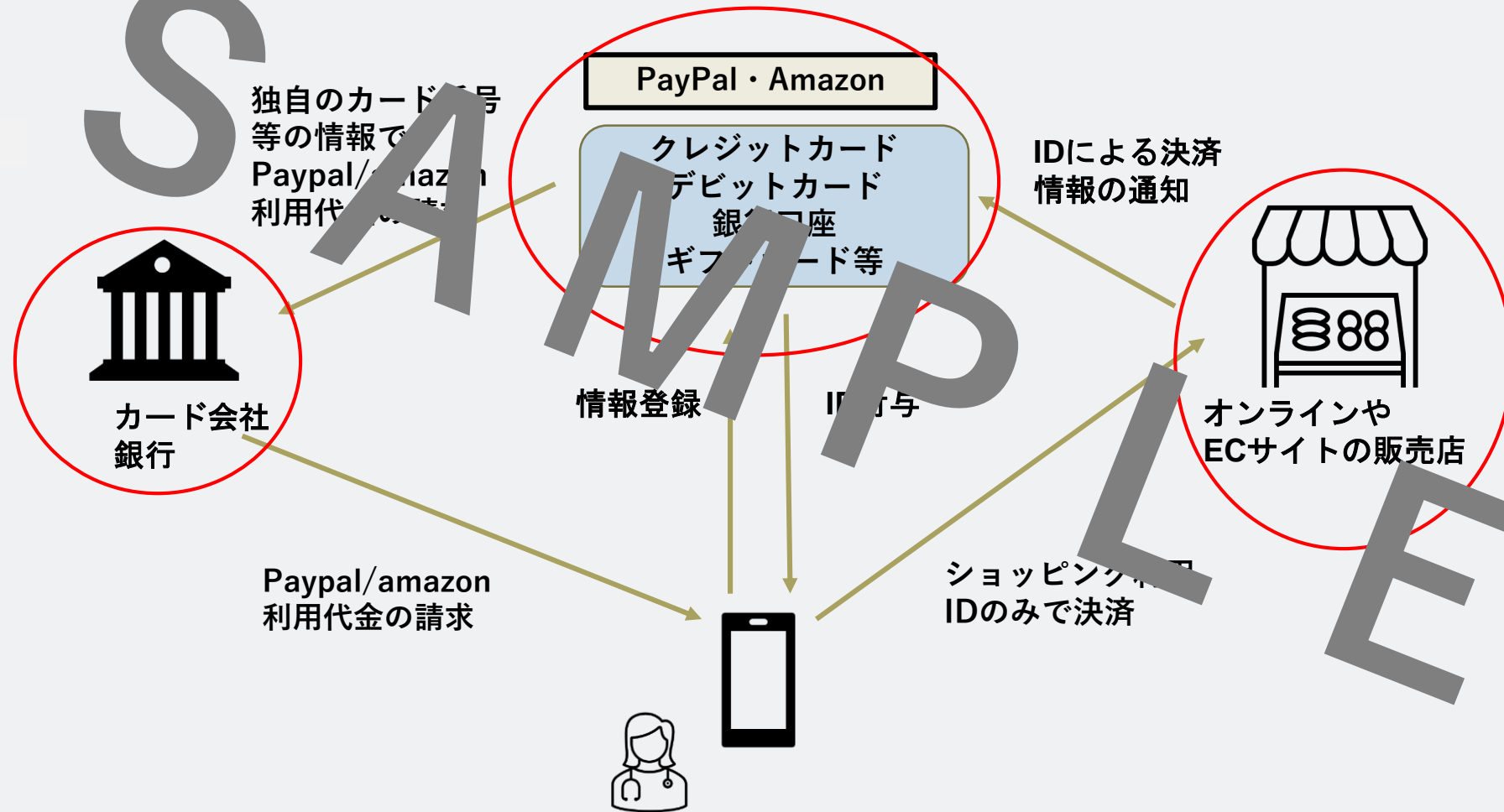
クレカ加盟店でも利用可



6. オンライン決済の仕組み

決済方法の事前登録方式

登録したカード・銀行口座・アカウントで支払い

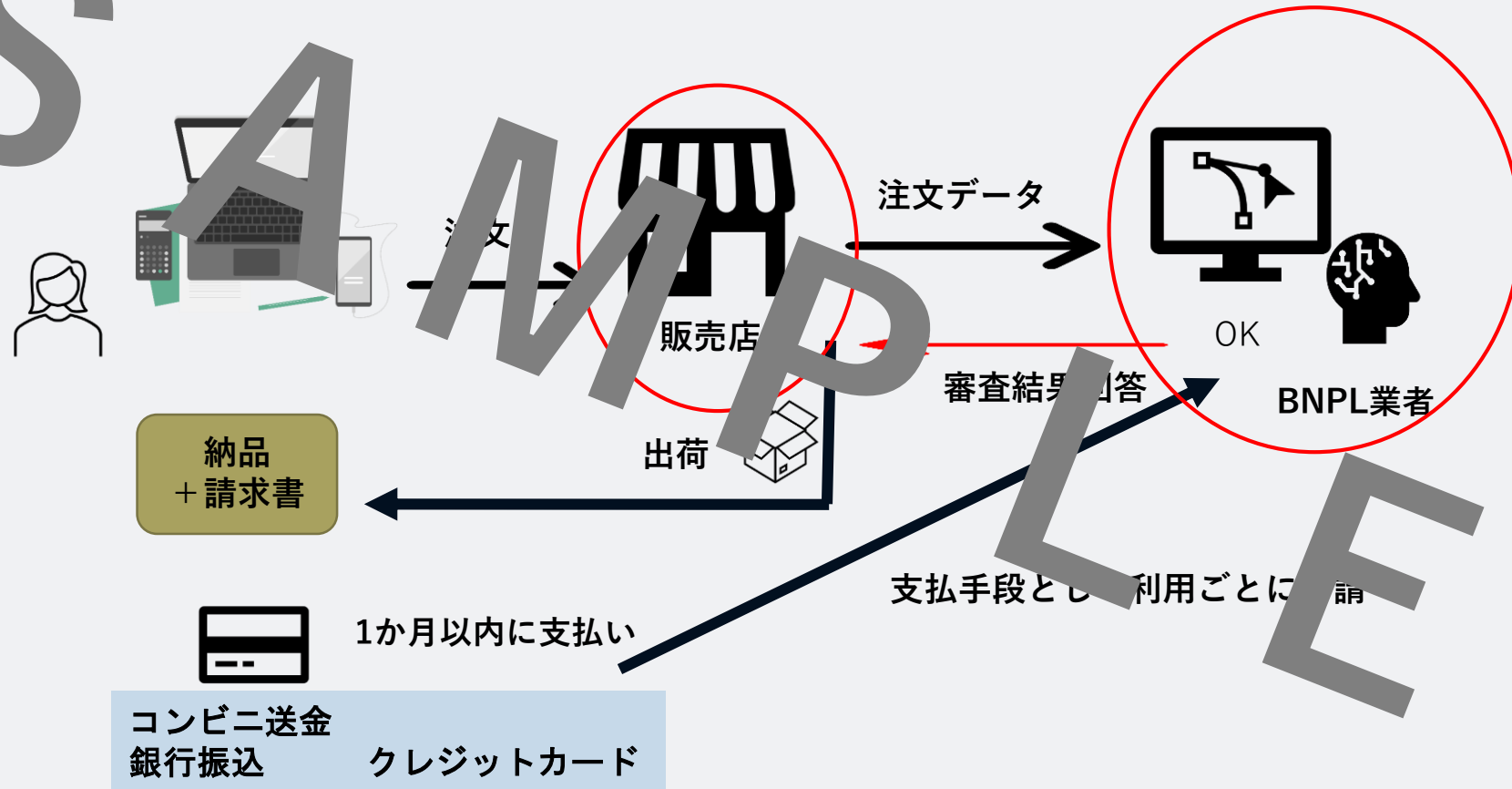


7. カードレスの個別決済の仕組み

BNPL

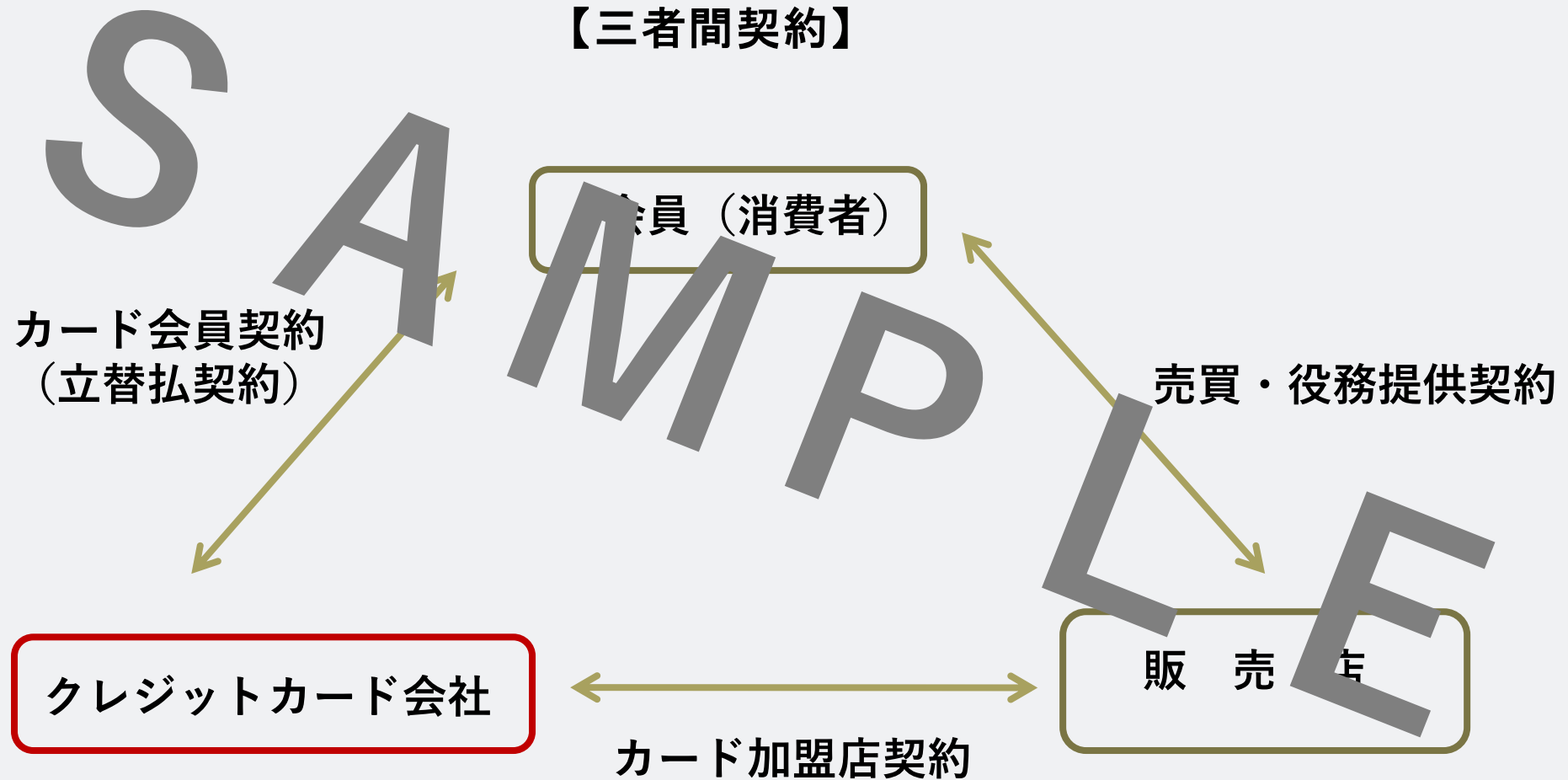
(Buy Now Pay Later)

利用時与信・後払い型

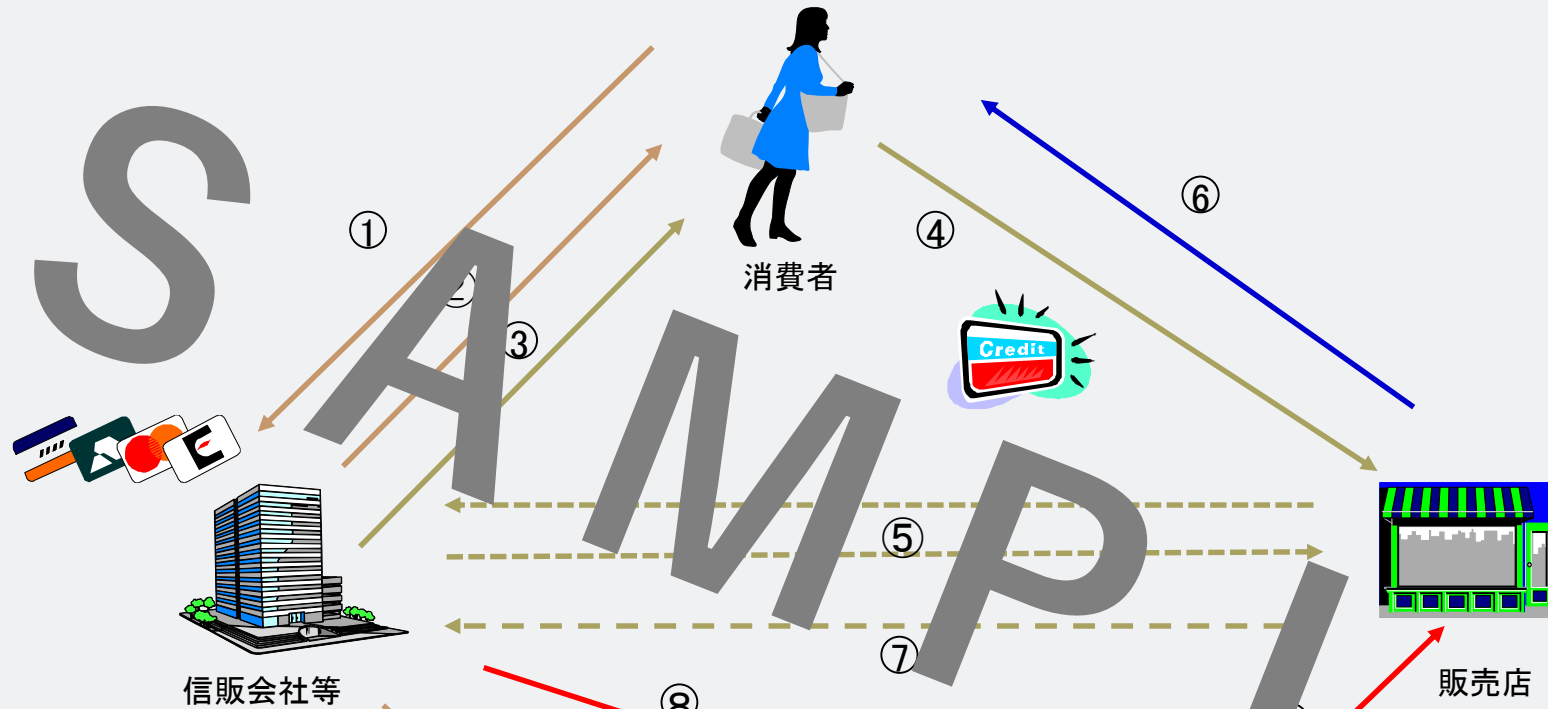


保証会社を活用したチャージ額の後払いによる債務弁済も類似

8. クレジットカード決済の仕組み クレカ①



【参考】クレジットカード取引の流れ



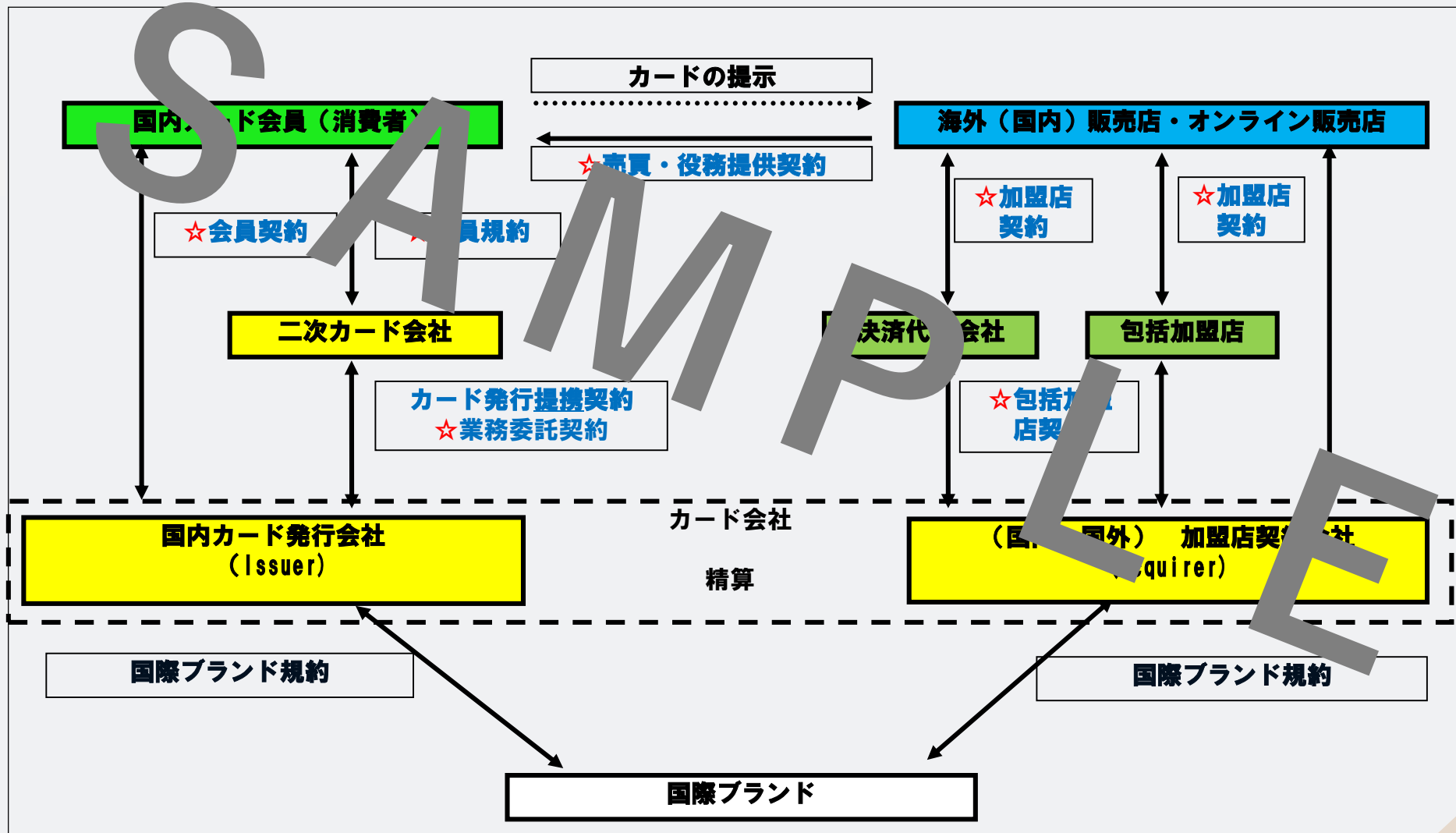
- ①クレジットカード発行の申込
- ②信用調査
- ③クレジットカード発行
- ④クレジットカード提示



- ⑤販売承認の依頼と承認の通知
- ⑥商品の引渡し又はサービスの提供
- ⑦販売代金請求
- ⑧加盟店手数料を控除して代金の立替

8. クレジットカード決済の仕組み クレカ②

【多数当事者型】



国際ブランド

- ・プリペイド
- ・デビット
- ・クレジット
- ・コード決済
- ・オンライン

9. キャッシュレス決済のメリット



いいね!



【共通】



現金や財布を持ち歩かなくても、商品等の購入ができる。

* ネット通販では、距離や時間の制約がなく、いつでも購入できる。



使った記録が、通帳やアカウントに残る。 = 支出が見える化。

* 最近では、利用状況の分類、予算進捗管理を行うアプリが出現。



現金では、割引が受けられないが、キャッシュレス決済では、
買い物等に使えるポイントが付与される。



非接触方式を使うと衛生的。





10. キャッシュレス決済のデメリット



避けたいね！



【共通】

-  カードの券面・カード情報をきちんと管理していないと、不正利用される可能性がある。
-  マルウェア攻撃を受けた加盟店サイトで利用すると、情報漏えいし、不正利用の可能性がある。
-  カード会社・ショッピングサイト等になりすましたフィッシング・メールに騙されて、情報を入力し、不正利用される可能性がある。
-  悪質事業者に騙されて購入すると、発覚後キャンセル等が難しい。

1 1. 前払い決済のメリット・デメリット



















(例) 電子マネー

いいね！
 考えてね！
 避けたいね！

メリット	デメリット
<p> 小銭や現金を持ち歩く必要がなくなる。</p>	<p> 前もって、アカウントにプールしておく必要があり、資金には利息が付かず、利用しないと資金効率が悪い。</p> <p> 高額な決済に利用できない電子マネーが多い。</p> <p> 利用できないところでは、利用できない場合がある。</p>
<p> 残高以上に使いすぎない。</p>	<p> クレジットカードや銀行口座からのオートチャージにする、上限がないのも同然になる。</p>
<p> 紛失しても、利用停止が可能。 名義登録済みのサーバー型電子マネー。</p>	<p> 紛失・盗難にあうと、他人に使われてしまいます。 無名義型 紙型、磁気カード型。ICカード型。</p>
<p> ポイントが付与される。</p>	<p> 使える加盟店が、国際ブランドと比べると少ない。 すべての加盟店でポイントが付与とは限らない。</p>
<p> 電子マネーは、知人等にバリューを譲渡できるものがある。</p>	<p> 受け取ったバリューや未使用残高を払い戻しできない。 * 資金移動業の発行する電子マネーは払い戻し可能。</p>

12. 即時決済のメリット・デメリット


















(例) デビットカード

メリット	デメリット
 小銭や現金を持ち歩かずに済む。	 オンライン決済では、利用できない場合がある。
 残高以上に使えない。	 預金残高の範囲でしか使えない。
 紛失しても、利用停止が可能。	 キャッシュカードの紛失・盗難等は、預金者保護制度があるが、Jデビットカードの不正利用には適用がない。
 国際ブランドデビットカードには、紛失・盗難保険が付与されている。	 クレジットカードより、ポイント付与率が低い。
 ポイントが付与される。	 Jデビットカードは国内でのみ使えない。Jデビットカードを使えない時間帯が存在する。
 国際ブランドデビットカードは、24時間いつでも海外の国際ブランド加盟店で、両替せずに購入できる。	 海外でのデビットカードATM不正使用には預金者保護法の適用がない。
 国際ブランドデビットカードの場合、海外ATMを利用して購入できる。	 ATM以外の場所（スーパーなど）でキャッシュアウト（現金引き出し）ができる。
 ATM以外の場所（スーパーなど）でキャッシュアウト（現金引き出し）ができる。	 キャッシュアウトできる店舗が少ない。（ATMが削減される一方、CO店舗は増えていない）

13. 後払い決済のメリット・デメリット



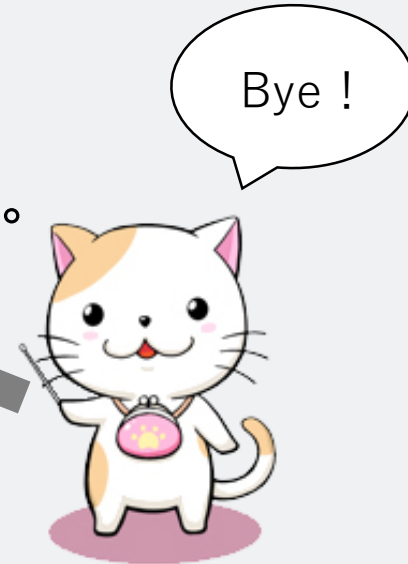
(例) クレジットカード

メリット	デメリット
<p> 小銭や現金を持ち歩かずに済む。</p>	<p> 無駄使い、高額な商品を買う歯止めがない。</p>
<p> 商品先渡し、現金後払いでリスク回避できる。 ・分割・リボ払いで、商品に問題があると支払い拒否ができる。 ・1回払いは商品未納等でチャージバックできる。</p>	<p> 分割・リボ払いには手数料が発生する。 38,000円以下の商品は支払い拒否が認められない。  必ずチャージバックできるわけではない。</p>
<p> 外貨に両替せずに、買い物でき、両替手数料節約。</p>	<p> 1回払いのみ。後リボを利用して分割できる。</p>
<p> 預金残高がなくても、ATMから現金の借り入れができる。海外で、現地通貨を購入できる。</p>	<p> 借り入れ、外貨の購入には、ATM手数料と利息が付加される。</p>
<p> 紛失・盗難保険が付与されている。  海外利用でショッピング・プロテクション。 (保険が付与されている)</p>	<p> 年会費などの負担がある。  カードやカード情報の「善いなる管理者としての管理義務」があり、怠ると責任を問われる。</p>
<p> ポイントが付与される。</p>	<p> リボ払いにするとさらに高年間のポイントが付与されるが、使いすぎにつながる恐れがある。</p>
<p> 年会費が永年無料のカードがある。</p>	<p> 初年度だけ年会費無料。次年度無料の条件として、年数回利用しないと年会費が無料にならないカードがある。</p>

14. キャッシュレス決済を利用する場合の留意点

【共通】

- カード情報を漏らさない、フィッシングメールに注意すること。
- 行動範囲、利用可能額、購入商品・サービスを想定して、自分にとって利便性が高い決済手段を選ぶこと。
 - * 入会プレゼント、ポイント付与率などだけで選択しないこと。
 - * 各種サービス、分割払い、リボ払いには手数料が必要なことを確認する。
- 利用時に明細書を受領し、金額等に間違いがないか、確認すること。
- ネット取引では、取引条件をよく読む。申込直前の最終画面で「継続取引か否か」「円表示かどうか」など確認する。



私どもでも、家計のご相談を承っております。
一般社団法人NTSセーフティ家計総合研究所

TEL : 03-6459-4770

Mail : nts_kskn@nts-hd.co.jp

